

「リトル・ダンサー」の脚本家が贈る、もうひとつの父と子の感動作

あの日の出来事を、僕は一生忘れない…！

天使にさよなら

GABRIEL & ME

フィルム・コンソーシアム提供/フィルム・フォー・シ・アイル・オブ・マン・フィルム・コミッション、フィルム・カウンスル共同提供/ブリティッシュ・スクリーン、サミュエルソン・プロダクション共同製作
イアン・グレン/デヴィッド・ブラッドリー/ショーン・ランドレス/ロージー・ロウエル/ペリー・コナリー/"GABRIEL & ME"
撮影:アラン・アームストロング/監督:アルベルト・アンプス/キースティン・ダウ/サウンド:アリス・エイト/プロデューサー:レイチェル・カパーマン/美術:アン・ティーン・ハリス
ライン・プロデューサー:ミアラ・マートル/衣装デザイナー:メアリー・ジェーン・レイター/メイクアップ:ベネディクト・ミズ/編集:ハリー・ウィグモア/音楽:スティーヴン・ウォーベック
製作総指揮:クリス・ボウルド、エレン・ブロンフマン、アンドリュー・ハウプトマン/脚本:リー・ホール/プロデューサー:マーク・サミュエルソン、ピーター・サミュエルソン/監督:ウダヤン・ブラサッド
ノヴェライズ:竹園勇 提供:コムストック/レントラックジャパン/テレビ東京/テレビ大阪 配給:コムストック www.comstock.co.jp
©2001 Samuelson Films Ltd.

「リトル・ダンサー」の原点となる

映画が、ついに登場した。

Daily Telegraph



「リトル・ダンサー」の脚本家リー・ホールのドラマ待望の映画化

ミニ・シアターで22週間のロングラン・ヒットを記録し、アカデミー賞3部門の候補にあがった『リトル・ダンサー』。その脚本家で自身アカデミー賞候補となったリー・ホールの出世作が、ついに映画化された。それが世界中を涙と感動で包み込んだ大ヒット作『リトル・ダンサー』の原点と呼べる作品『天使にさよなら』である。

サッカー選手よりも天使になりたい風変わりな少年と、不況のどん底にあえぎながら不治の病に冒されていくパパ。おたがいに愛情を伝えられない不器用な親子が、一瞬の心のふれあいを得るまでの物語を、優しいまなざしでみつめた感動のヒューマンドラマである。

主人公のジミーは11歳。彼の最も幸福な思い出は、パパのたくましい腕に抱かれ、空高く舞い上がった5歳のときの記憶。そしていつしかジミーは、天使になって再び大空を舞いたいという夢を抱くようになる。そんな彼の前に出現する大天使ガブリエル。彼から天使見習いに抜擢されたジミーは、人助けをして本物の天使になると一生懸命。しかし、失業と病にいらだつパパには、ジミーの行動を理解できない。果たして、ジミーは天使になって奇跡を起こし、パパの命を救うことができるのであろうか…？

天使になりたい少年とパパとの“奇跡の瞬間” 親子の感動のラスト・シーンに涙がとまらない

パパに愛されたいという願いから、天使になる夢を持つジミー。炭坑町でバレエ・ダンサーをめざす『リトル・ダンサー』のビリーと同様、誰にも理解されない望みを内に秘め、健気に生きる主人公の姿が、胸を打つ。彼の心にあるのは、家族みんなで幸せに暮らしたいというささやかな願い。しかし現実の壁は厚く、不況、失業、不治の病といった試練が、容赦なく一家にふりかかってくる。そうした社会的な背景をエッセンスとして取り入れつつ、あくまでもジミーの目線で語られていくドラマは、夢と希望と現実の狭間で葛藤を繰り返しながら、自分自身のなすべきことを模索するジミーの成長ぶりをいきいきと活写。大人への階段を昇りつつある少年のナイーブな心理を、鮮やかに浮き彫りにしていく。希望に向かってひたむきに生きるジミーと病状が悪化していくパパ。親子の深い絆が生まれるラストの“奇跡の瞬間”には、誰もが熱い涙を誘われずにはいられない。

天才子役ショーン・ランドレス&「スパイ・ゾルゲ」主演イアン・グレンと、アカデミー賞スタッフとの見事なコラボレーション

主人公のジミーを演じるのは、2000人以上の候補者から選ばれたショーン・ランドレス。本作が映画デビューとなる彼は、『リトル・ダンサー』のジェイミー・ヘルに負けない天性の輝きの持ち主。ジミーを心から愛しながらも思いを伝えられないパパに扮するのは、篠田正浩監督の新作『スパイ・ゾルゲ』で主役ゾルゲ役に抜擢され、『トゥームレイダー』の悪役演技が記憶に新しいイアン・グレン。天使ガブリエル役には、『Queen Victoria 至上の恋』で英アカデミー賞候補にあがったビリー・コノリーなど、イギリス映画界の重鎮が脇を固める。さらにジミーが命を助ける少年に、『はくの国、パパの国』で主役の末っ子を演じたジョーダン・ルードリッジが扮しているのも話題だ。

原作は、リー・ホールがイギリスで数々の賞を受賞したBBCドラマ出世作。自身で脚色も担当したホールは、現在はハリウッドに進出し、ドリームワークス作品の脚本を手がけている。監督は、『My Son the Fanatic』でインディペンデント・スピリッツ賞候補にあがったインド出身のウダヤン・ブラサッド。『恋におちたシェイクスピア』でオスカーを受賞したスティーヴン・ウォーベックが、『リトル・ダンサー』について音楽を担当し、ジミーの内面を物語っていく印象的なスコアを提供している。



天使にさよなら

GABRIEL & ME



2001年エジンバラ国際映画祭正式出品作 監督:ウダヤン・ブラサッド 脚本:リー・ホール(リトル・ダンサー) 音楽:スティーヴン・ウォーベック(恋におちたシェイクスピア)

出演:イアン・グレン(トゥームレイダー)、ショーン・ランドレス、ビリー・コノリー(Queen Victoria 至上の恋)、ジョーダン・ルードリッジ(はくの国、パパの国)

2001年イギリス映画/カラー/ドルビーSRD/1時間26分 ノヴェライズ:竹書房 提供:コムストック/レントラックジャパン/テレビ東京/テレビ大阪 配給:コムストック www.comstock.co.jp

8月下旬感動のロードショー!!

特別鑑賞券 ¥1,500 (税込) 絶賛発売中!!

当日料金 一般 ¥1,800 / 大高 ¥1,500 / 小中シニア ¥1,000

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F

シネ・リーブル梅田

CINE LIBRE UMEIDA

06(6440)5930

大丸東側 神戸朝日ビルB1F

シネ・リーブル神戸

CINE LIBRE KOBE

078(334)2126

www.nikkatsu.com